

(別表)新旧対照表

新	旧
<p>4 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>目標2 観光・レクリエーションを軸とする新たな産業展開と地域振興 観光レクリエーション施設利用者の増加と森林を活用した行事の開催 (「桜淵公園」「県民の森」等主要な施設の利用者数(年間470万人台)の 拡大を目指す。) (森林マラソン、オリエンテーリング等都市との交流事業による交流人口の 拡大を目指す。) (ラリー大会における観客数の拡大を目指す。〔現状4,500人 1万人〕)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要 当地域の広域的な交流・連携の向上につながる第二東名高速道路や三遠南信 自動車道の整備の促進に伴い、・・・(略)・・・地域再生計画「DOS 地域再生プラン (Do Outdoor Sports)」による自然を活用したスポーツ交流などを実施することにより、 都市部や県外からの交流人口の拡大を図ることとしている。 <u>中でも、自然を活用したスポーツ交流の取組として、平成16年度より実施し ているラリー大会は、年々参加チームや観客が増加し、当地域に及ぼす経済的社 会的効果が大きくなってきているが、市町村合併に伴い、平成18年度よりメイ ン会場が変更された。また、当大会は、2007年度より日本ラリー選手権に昇 格することが決定しており、観光客の増加が予想される。</u> <u>しかし、そのメイン会場となる「ふれあいパークほうらい」は、スポーツ大会、 音楽イベントや長篠合戦のぼりまつりなど、各種イベント等に利用されるなど、 地域の重要な施設であるが、当施設へのアクセスが課題となっており、新たに道 路の整備をする必要性が生じている。</u> <u>そこで、周辺地域の交通条件を高めることによって、都市部や県外からの交流 人口の拡大を図り、交流による地域活性化を目指す。</u></p>	<p>4 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>目標2 観光・レクリエーションを軸とする新たな産業展開と地域振興 観光レクリエーション施設利用者の増加と森林を活用した行事の開催 (「桜淵公園」「県民の森」等主要な施設の利用者数(年間470万人台)の 拡大を目指す。) (森林マラソン、オリエンテーリング、<u>ラリーの開催</u>等都市との交流事 業による交流人口の拡大を目指す。)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要 当地域の広域的な交流・連携の向上につながる第二東名高速道路や三遠南信自 動車道の整備の促進に伴い、・・・(略)・・・地域再生計画「DOS 地域再生プラン (Do Outdoor Sports)」による自然を活用したスポーツ交流などを実施することにより、 都市部や県外からの交流人口の拡大を図ることとしている。</p>

5 - 2 法第4章の特別措置を適用して行う事業

(略)

[整備量及び事業費]

・市町村道 10,450m、広域農道 17,860m、林道 40,356m

・総事業費

総事業費 14,419,924 千円 (うち交付金 7,191,624 千円)

(内訳) 市町村道 4,099,374 千円 (うち交付金 2,049,687 千円)

広域農道 7,100,000 千円 (うち交付金 3,550,000 千円)

林道 3,220,550 千円 (うち交付金 1,591,937 千円)

(略)

5 - 2 法第4章の特別措置を適用して行う事業

(略)

[整備量及び事業費]

・総事業費

市町村道 10,200m 3,821,000 千円 (うち交付金 1,910,500 千円)

広域農道 17,860m 7,100,000 千円 (うち交付金 3,550,000 千円)

林道 39,905m 3,194,600 千円 (うち交付金 1,579,729 千円)

総事業費 14,115,600 千円

(略)